

【資料2】

令和6年度 第2回あま市スポーツ推進連絡会議における
意見と検討状況について

【意見交換】

各委員から出た、意見や提案等を以下のとおり箇条書きで示す。

☆【テーマ】スポーツへの関心を高める機会の提供について

【各委員から出された意見や提案等】

- 1) あまスポーツクラブでは、ワールドカップも開催され、高齢者の健康、介護予防に有効な手段の一つであるeスポーツを4年前より導入を検討中。
- 2) 文科省によると、子供たちはスマートフォンやパソコン等で、1日、2、3時間過ごしている。体力テストでは、5種目の体力が落ちたとある。健全育成には、身体活動をスポーツの中に取り入れる見直しが必要。
- 3) 着座体制で参加可能なモルックは、高齢者向けである。
- 4) 現在、子どもたちには、バトミントンやバスケットボールの人気の高い。
- 5) 子どもたちが行い興味を持つと、子どもの口から「クラブチーム等に見学に行ってみよう」と保護者に伝われば良い。
- 6) 新聞など様々なメディアを活用してPRし、関心を持ってもらうことが必要。
- 7) 啓発活動として、案内チラシや広報による発信。最近では、若者は、Instagram、Facebook、TikTokなどのSNSで発信すると非常に反応が良い。
- 8) 子どもたちは、表彰されたり雑誌に掲載されることで、たいへん喜ぶ。
- 9) ラジオ体操の集いは、リピーターが多く参加賞に期待しているのが現実。
- 10) あま市教育委員会主催、あま市スポーツ推進委員が主管している行事や事業があるとき、その時だけグラウンドや体育館の開放を止めて、できるだけその行事や事業に参加するようPRをしたら、もう少し盛り上がるのではないかと。
- 11) 色々な事業がコラボレーションして同時開催すると盛り上がる。
- 12) イベントなどでは、公式ラインやTikTokなどを活用し動画配信すると文字だけではなく、雰囲気もわかるので効果的。

【意見集約】

各委員から多くの貴重な意見等が出された。まとめると、「スポーツへの関心を高める機会の提供」については、世代にあったスポーツの紹介を行い体験することが必要である。また、関心を高める手段として、案内チラシや広報による発信、Instagram、Facebook、TikTokなどのSNSで発信することが重要である。